

通信小海

「真の友となつてくださるお方」

牧師 荒^{あらかみ} 実^{まこと}

現代人の悩みの一つに、本当の友がないという悲しむべき現実があるように思います。友と呼べる人はいる。しかし、その人に心を開いて本音を打ち明けられるかとなると、正直そのままの関係ではない：誰か一人でも本気で自分を大切に思ってくれ、安心して心の内を打ち明けられる人がいてくれたら：と願う求めている人も少なくないと思います。

イエス様には、12人の弟子がいました。イエス様は、その弟子たちを友と呼び、彼らに何も隠し事をせず、ご自身の証をされました。天の父なる神様の語られたことを伝え、ご自身が

「今月のみ言葉」

「人が自分の友のためにいのちを捨てること、これより大きな愛はだれも持っていません。」
ヨハネ15・13

人々に捕らえられ、十字架に架けられて死に、3日目によみがえることを弟子たちに予告されます。

イエス様は3年の間、弟子たちを訓練し、宣教するために必要なことを教え、イエス様の死と復活を証言するという重要な使命を与えました。時に本気で叱り、また褒め、彼らを友として心から愛して下さいました。

しかし弟子たちは、自分たちを友と呼び、教え導き続けて下さったイエス様を裏切ってしまった。それは、十字架の日の出来事でした。イエス様がローマ兵に捕らえられると弟子たちは一人残らず逃げ出したのです。それに関わらず、イエス様はよみがえられた後、弟子たちにご自身を現わされた時、開口一番にこう言われました。

「平安があなたがたにあるように」

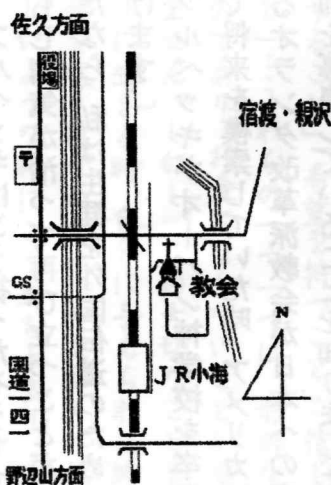
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・二〇二 TEL 0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

*初めての方も安心してお越しください。
*個人的な聖書勉強やご相談にも遠慮なくお越しください。

※当教会は、エホバの証人とは一切関係ありません。

イエス様は、弟子たちを責めるような言葉を一切口になさらずに、ただ、彼らの平安を祈られたのです。

私達はどうかでしょうか。長年、信頼関係を築いてきたはずの人に、ここぞという時に裏切られるようなことがあったら、相手のために平安を祈るところか、赦すことさえできないのではないのでしょうか。

しかし、イエス様は違います。十字架の上で「父よ、彼らをお赦しください。」と祈られたように、私たちがどんなにイエス様を裏切ってしまうことがあっても、赦し、愛し続けて下さるのです。イエス様だけは、決してあなたを見放さず、どんなことがあっても、変わらずに友でいてくださる……

イエス様は、あなたの真の友となるべく、あなたが心を開くのを待っていて下さいます。ぜひ、イエス様の愛を受け入れて、イエス様と共に生きる喜びに満ちた人生の第一歩を踏み出してください。

新連載

聖書を読んだサムライたち

もうひとつの幕末維新史

守部 喜雅 【著】

第一章・洋上に浮かんでいた聖書

②

一八三〇年、オランダの裕福な商人の家に生まれたフルベッキは、モラビアン派の学校に学び、外国にキリストの福音を伝えるスピリットをそこで学びました。モラビアン派はヨーロッパでは少数派の信仰共同体に属するのですが、聖書の真理に堅く立ち、魂の回心を重んじていた宗派です。

当時、中国で伝道していた宣教師ギユツラフがオランダに来た時の熱烈な説教は、少年フルベッキの心をとらえました。フルベッキはユトレヒトの工学校に学び、卒業後、鉄道建設に従

事すべく、二十二歳でアメリカに渡りました。一八五三年には、アーカンサス州ヘレナの架橋工事の技師として招聘されますが、激務と猛暑のため病に倒れます。この最も弱いと思える時に人生の転機がやって来ました。病床で、少年時代にギユツラフから聞いた「汝、すべてを神に委ねて外国伝道に献身せよ」という言葉がよみがえって来たのです。その時、フルベッキはこう祈ったそうです。

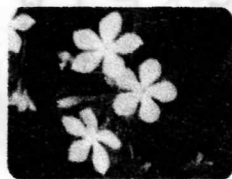
「もし病気が治って再び立つことが出来たなら、私は生涯を外国伝道のために捧げます。」

フルベッキがオーバン神学校を卒業して将来を模索していた時、アメリカにあるオランダ改革派教会が日本への宣教師を募集していることを知りました。彼は、すぐに応募します。

勝海舟をはじめ当時の日本人の賢人たちは蘭学に通じていました。ですからオランダ語も話せるフルベッキは当時の日本で働くには特に貴重な存在だったと言えましょう。

ニチニチソウ

日日草・日々想



ミヒヤエル・エンデの「モモ」は、

多くの方が読まれたことのある作品だと思えます。児童文学に分類されませんが、大人になつてから手にとり、感銘を受けたという感想も多く聞かれ、1973年に刊行されてから今なお「時間とは」「生きることの意味とは」と深く考えるきっかけとなる優れた作品であると言えるでしょう。様々な書評がありますが「20世紀後半の最も注目すべき小説の一つ」と言われるのもよく分かる気がします。

確かに、エンデが作品を著したその時代だけでなく、現在の私たちの生活の中にも「時間泥棒」がはびこつて

いるのだと思います。ひたすら忙しくして、あるいは本当の意味で重要ではないことのために労力を注いで日々を過ごしているのは、大人だけでなく子どもも同じです。

「モモ」の作中では、時間泥棒に言いくめられて、時間を貯蓄するために節約していくうちに、人々の心が殺伐としていく模様が描かれています。強迫観念とも言える思考に支配されて、心を奪われていくようなことは、私たち自身にも起こり得ることです。むしろ、そのように働きかけるものに囲まれて、強い影響を受けながら生きていけると言えるのではないのでしょうか。現代の時間泥棒の方が巧妙な手段で時間を奪っているのかもしれない。

時間を節約しようとして、その時間の質を落とすことも、無駄なことに時間を浪費することも、結局のところ、本来の自分らしく生きる時間を失うという意味において、同じことだと思えます。セカセカしても、ダラダラしても、「モモ」で語られるところの「死んだ時間」

になつてしまふ：「時間とは、生きるということ、そのもの」「人のいのちは心を住みかとしていゝ」というエンデの言葉に深く納得するのです。

モモの友達は、モモとの関りを通して自分にとつて大切なものが何であつたかを取り戻しました。「愛すること」「空想すること」「希望を持つこと」「信じること」：これらの一つ一つは、形のないものであり、お金にならないことかもしれないかもしれません。しかし、この大切なことを忘れずに生きる時、自分に与えられた時間が命を吹き返すのです。心を亡くすほど忙しいような時にこそ立ち止まり、生きることの意味や目的をじっくり考え、向き合う時を持つ必要があるでしょう。

自分が立ち返る場所、立ち返る存在の大切さを思えます。私にとつて「モモ」のような存在、それは「イエス様」です。イエス様のもとへ行く時、時間泥棒の策略から身をかかわすことができます。礼拝の場で主の前に静まり、憩う時を通して命を吹き返すことが出来る幸いは、本当に大きな恵みなのです。



暑らしの
くすりばい

《今月の処方箋》



◆夏の皮膚トラブルに注意◆

夏は何かと皮膚トラブルの多い季節。夏場の皮膚は高温多湿の環境によって、細菌やカビが繁殖しやすく、とびひや水虫など、皮膚の感染症が起りやすくなります。多量に汗をかいたため、皮脂膜が流れ落ちて皮膚バリアが弱まり、細菌の繁殖を招くこともあります。汗が皮膚を刺激して炎症を起こし、あせもやアトピー性皮膚炎が悪化するケースもあります。また、強い紫外線に当たると日焼けに加え、皮膚の抵抗力が低下してさまざまな皮膚トラブルの原因になります。肌の露出が多くなる分、接触性皮膚炎（かぶれ）や虫刺されなども多くなります。

す。

首回りなどの、しつこいかゆみや赤みは、汗によって肌が荒れる「汗荒れ」の可能性があります。汗荒れは、汗によって起こる接触性皮膚炎。夏の肌トラブルといえば、「汗疹（あせも）」が一般的ですが、重症化しやすいのは汗荒れです。汗の水分が蒸発すると、汗に含まれている塩分やアンモニアの濃度が高くなり、刺激になってチクチク・ピリピリと感じ、さらに、汗が皮脂と混じってベタついた所に、ほこりなどが吸着し、かゆみを生じることがあります。

汗荒れになりやすい部分は皮膚が薄くて弱い所や乾燥している所。首回り、腰回りなどは衣服との摩擦や蒸れが起る部分にもなりやすく、かゆみや赤みを伴います。

汗でかゆくなると「あせも」と思う人が大半ですが、実際は8割以上が「汗荒れ」です。予防には、汗をかいたらシャワーで洗い流したり、こまめに汗を拭いたりして清潔を保ち、保湿して乾燥を防ぐなど、早めのケアが大切です。

生活困窮者支援

山谷（やま）農場

お米をお願いします！

お米の在庫が厳しい状況にあります。今月もぜひ、お米をお寄せ下さるようお願い申し上げます。受け取れるものは2017年度以降の玄米です。

〈連絡先〉藤田 寛

☎ 090・1436・6334

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

〈物資送付先〉 小海キリスト教会、または、南牧村社協へ。〒384・1302南牧村大字海ノ口966・15南牧村社会福祉協議会気付 山谷農場

*着払い送付はご遠慮ください。

*土曜日の配達指定でお願いします。

山谷農場事務局（藤田）小海町芦谷ヒルサイドコーポ一〇二号室 毎週土曜

カンパニ振替〇〇二四〇・四・五三七九六

☆活動の近況などは、山谷農場フェイスブックをご覧ください。

